

「Y-PORT 事業」を通じた企業の海外展開実現を目指して 様々な関係者による対話『共創 Y-PORT ワーキング』を開催しました。 ～ フィリピン国セブ都市圏における公民連携による環境事業形成 ～

新興国等における都市課題の解決支援と、企業の海外展開の促進に向けて「第8回共創Y-PORTワーキング」を開催しました。

経済産業省大臣官房審議官やJICA民間連携事業部から講師をお招きし、政府による企業支援メニューや地方自治体との連携の可能性についてご講演いただきました。また、来日したメトロセブ開発調整委員会（MCDCB）やJICA調査団から、セブ都市圏の都市開発の動向について最新の情報提供が行われました。交流会では、講師をはじめ参加者やセブの方々の中で活発な情報交換が行われました。

1. ワーキングの概要

(1) 日 時：平成26年5月30日（金） 13:15～16:30

(2) 場 所：横浜シンポジア（産業貿易センタービル9階）

（住所：横浜市中区山下町2番地）

(3) 参加数：84名（民間企業等41社・団体）

(4) 内 容：

- ・基調講演「中堅・中小企業による途上国の街づくり支援」 経済産業省大臣官房審議官 森清氏
- ・横浜市Y-PORT事業の取組みについて 横浜市政策局国際技術協力課担当課長 折居良一郎
- ・JICAの民間連携事業について 国際協力機構民間連携事業部主任調査役 廣嶋純哉氏
- ・セブ都市圏の都市開発ビジョンおよびロードマップの策定に向けて
JICA「メトロセブ持続可能な環境都市構築のためのロードマップ策定支援調査」調査団
長山勝英氏 岩垂好彦氏
メトロセブ開発調整委員会（MCDCB）／ラモンアボイティス財団執行役員
Ms. Evelyn Nacario Castro
- ・交流会等



メガ・セブ・ビジョン2050の市民広報のために策定された
キャッチフレーズ「MAKING W. A. V. E. S」
(Wholesome, Advanced, Vibrant, Equitable, Sustainable)
のポーズをとる参加者たち



参加者間で活発な情報交換が行われた交流会

2. ワーキングの様子



経済産業省 森審議官からの情報提供



メトロセブ開発調整委員会からの情報提供



JICA調査団からの情報提供



JICA調査団からの情報提供

3. アンケートの結果等の参加者の意見

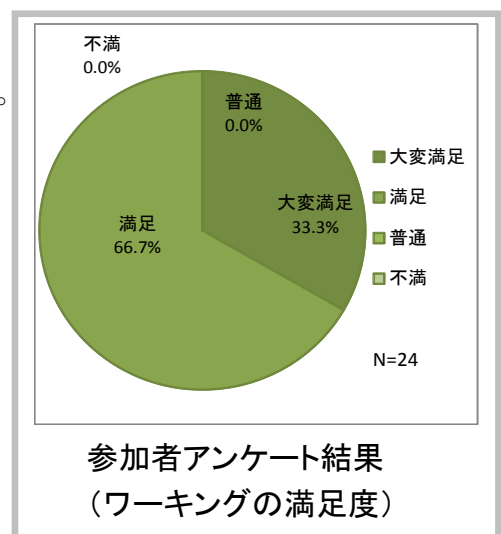
(1) 主な意見

- ・関係者の方とのネットワーク作りのきっかけとなり、非常に有意義な時間だった。
- ・MCDCBメンバーの来日があり、直接会えてよかった。
- ・様々な視点から横浜市を取組とセブ都市圏の現状について知ることができた。
- ・それぞれの発表がとても分かりやすかった。セブからの説明も分かりやすく、明るい雰囲気も伝わった。

等のご意見をいただきました。

(2) 参加者からのアンケート結果

回答者24中24名(100%)から、「大変満足」、「満足」との感想を頂きました。



お問い合わせ先

横浜市政策局共創推進室国際技術協力課 中村、佐々井、川島 TEL 045-671-4396